

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和6年度 第3回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	令和6年10月31日(木) 午後2時00分 開会・午後3時20分 閉会
開 催 場 所	市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	小池 佐智子
出席委員(者)氏名	小池 佐智子、中林 敏正、高山 京子、瀧澤 啓次、吉田 美佐子、 幡野 敏彦、山下 恵久子、森本 剛、松本 より子、宮澤 聖二、 今井 英雄、森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	東 一成、遠藤 学、青柳 貴久
説明者の職氏名	高齢者支援課 課長 岩田 孝弘、主幹 井ヶ田 剛
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 諮問 市独自サービス事業の見直しについて 4 議題 (1) 市独自サービス事業の見直しについて ● 入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業 (2) その他 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の検証と今後の方向性(案) 資料2 入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成に関する要綱 資料3 審議会における諮問から答申までのスケジュール 資料4 平成27年度諮問書 資料5 平成27年度答申書 資料6 平成27年度第5回入間市高齢者福祉審議会における「市独自事業の見直し」に関する審議概要 ○「タクシー券見直し(案)」に係る意見及び回答(別紙1、別紙2、別紙3、タクシー券見本、事前に提出いただいた意見書)
事務局職員職氏名	【福祉部】部長 須田 美菜子、次長 忽滑谷 敦子 【福祉部高齢者支援課】課長 岩田 孝弘、主幹 井ヶ田 剛、副主幹 コバチ 真実、主事 高橋 侑大、主事補 武井 陽菜 【健康推進部介護保険課】課長 下村 佳司
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）

#### ■ 諮問

市長より諮問書を提出した。

市独自サービス事業の見直しについて

- ・入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業
- ・一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業

■ 審議会の会議録に署名する委員については、高山京子委員を指名した。

#### ■ 議題

(1) 市独自サービス事業の見直しについて

入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業について事務局より、資料 1、2、3、4、5、6 及び当日資料「タクシー券見直し（案）」に係る意見及び回答に基づき説明後、質疑応答を行った。

(2) その他

次回、審議会での審議について

#### ■ その他

(1) 次回勉強会の実施について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>委員の皆さまには、会議がスムーズに運営されますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、12人です。よって、高齢者福祉審議会条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、本日の会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページで周知したところ、希望はありませんでした。次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、高山委員、お願いできますでしょうか。</p>
高山委員	はい。
議長	<p>よろしくをお願いいたします。それでは議題に入らせていただきます。</p> <p>市長より諮問を受けましたので、市独自サービスの見直しについて、を議題とさせていただきます。本日の審議の終了は午後3時15分です。ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日、諮問を受けました、市独自サービスの見直しについては、「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業」と「一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業」の2事業です。今後どのようなスケジュールで審議し、市長へ答申を行うのか事務局より説明をお願いします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>(資料3「審議会における諮問～答申までのスケジュール」に基づき、本日は、入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業について審議していただき、次回からさらに、一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業についても審議に入っていただきたいこと。また、前回示した審議会の開催日程に新たに12月開催を追加したい旨を説明。)</p>
議長	<p>スケジュールについて説明をいただきましたが、このことについては各委員よろしいでしょうか。</p> <p>問題はないようですので、それでは、市独自サービスの2事業の見直しのうち、「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業」につい</p>

発 言 者	発 言 内 容
高年齢者支援課主幹	<p>を進めて参ります。</p> <p>こちらの事業の見直しにあたって、事前に資料配布が行われ、本日まで各委員より意見が寄せられています。各委員においては、資料を確認いただいているとは思いますが、改めて要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の検証と今後の方向性(案)の概要、また、寄せられた意見に対する市の回答について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(資料1「要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の検証と今後の方向性(案)」についての概要を資料2「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成に関する要綱」、資料4「平成27年度諮問書」、資料5「平成27年度答申書」、資料6「平成27年度高齢者福祉審議会でお出された主な意見」と併せ説明。その後、当日配布資料「タクシー券見直し(案)」に係る意見及び回答に沿って市の考えを説明。)</p>
議長	<p>事務局からの概要説明、それから各委員から事前に提出いただいた意見の取りまとめとその回答について説明をいただきました。</p> <p>これらを踏まえて、資料1、6ページの8タクシー利用料金助成事業内容の見直し(案)の部分について、ご審議いただきたいと思います。</p> <p>さらにご意見ご質問のある方はお願いします。</p>
今井委員	<p>進め方についてですが、事前に意見書を提出された委員の方は6名です。委員は15人いますので、まず今日いらっしゃっている委員のなかで意見書を提出しなかった委員からご意見を伺った上で、全体で議論したらいかがでしょうか。</p>
中林副会長	<p>読ませていただきまして、市も本当に苦労されてこれを作っていることを理解いたしました。</p> <p>意見は、もちろんないことはありませんが、市の方針がよくまとまっておりますので、市の方針に私は従っていきたいなということをお伝えいたしまして、意見書の方は提出いたしませんでした。</p>
議長	<p>今井委員ありがとうございました。それでは、残りの時間を提出していない方からのご意見をいただくということにさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>とでよろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ順にお願いいたします。</p> <p>基本的には市の見直し（案）に賛成です。資料を見させていただいた中で、やむを得ないのかなとは思いました。ただ、本当に必要としている人がいるので、慎重にやるべきではないのかなというのは考えます。</p> <p>本日、タクシー券を見させていただきましたが、利用者のお名前を書くところがあって、裏面はタクシー会社の方が記載するというようになっていると思います。ここに、もしご面倒でなければ、どこで降ろしたのか記入するようになっていけば、本来の目的である通院等の利用以外に使えないものだということが利用者の方も認識できて、本来の目的以外に使うことが防げるのではないのかなと少し思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。瀧澤委員お願いします。</p>
瀧澤委員	<p>先ほど、皆さんの意見を拝見し回答もいただいた中で、皆さん本気で勉強しているなというふうに感心をいたしました。同じような意見が多かったというふうに考えております。</p> <p>一つだけ確認しておきたいのは、行政改革の計画で令和4年にこのことを言っていますが、これはもっと前の平成28年には全面改正と答申されています。それなのになんでこの時期なのか、もっと早くできなかったのかというふうなことを行政に対して言いたいなというふうには思います。</p>
議長	<p>事務局から回答をいただきますか。よろしいですか。それでは、吉田委員お願いします。</p>
吉田委員	<p>この市の独自サービスのタクシー利用での助成事業に関しては廃止の方向でいいのかなというところで、残り2年あるのかで、徐々に皆さんにご理解をいただければと思います。今現在、申請代行等を担うケアマネジャーさん方からはとても負担が大きいというような話も聞いておりますので、その2年間の間で、業務の簡素化等についても検討していただきながら廃止していただけたらいいと思いました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長 幡野委員	<p>ありがとうございます。幡野委員お願いします。</p> <p>私は入間市の介護支援門協会の代表でここに来ています。一応ケアマネジャーからの立場からお話させていただきますと、今吉田委員がおっしゃったように、ケアマネジャーが毎年更新をしなくてはいけなくて、すごく事務量大きいというのは事実です。ケアマネジャーは、この業務については無償で行っていて、すごく負担が大きいということで今問題となっているというのが一つあります。</p> <p>ただ、毎年1月過ぎに各担当している利用者さんの自宅を訪問して、また更新するのかどうか必要性をアセスメントしますが、やはり、タクシー券をもらっている方からは大変喜ばれています。これは金券と一緒にでするので本当に欲しいという方がほとんどです。基本的に私はタクシー利用に関する市の見直し市（案）事業廃止には賛成ですが、これを廃止にするにあたっては、進め方をかなり慎重にやっっていかないと、今利用している方々からはかなり不満の声が上がるのではないかなと思われま</p> <p>す。</p>
議長 松本委員	<p>ありがとうございます。松本委員お願いします。</p> <p>私も市の案の廃止の方向で賛成です。介護認定審査会の委員をしまして、要支援の方がとても多く介護サービスは利用していないのになぜ申請するのだろうかというところでは、やはりタクシー券が欲しいからというところがあるだろと思います。ただ、利用者の方には、タクシー券をもらうためには、審査会や認定調査にかかる費用もかかっているというところは理解していただきたいと思っていて、廃止の方向で賛成です。障害のある方には別の制度でタクシー券が出ていますし、あと1時間700円のサポート券というものも使用できますので、障害のある方は介護を受けていても除外してもいいのかなと思っているところです。</p>
議長 宮澤委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>この資料1の最後の6ページで示す（案）というか結論というか、事務局の資料はとても丁寧にできていると思います。例えば資料6の27</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>年度に出た主な意見と、今日ここで委員の皆さんから出た意見を比べてもそう違わない。また、委員構成も当時と違わないでしょう。そうなるとおおよそ意見って固まっているというか集まってきているかなと思います。そこで、私が気になるのは、かなり利用している方もいらっしゃるのですが、了解はしていただけないかも知れないが、仕方がない、と思っていただけるように、説明の仕方を工夫して、なお且つ7年、8年という2年間の間にもう少し資料も作るなり何なりして廃止となることについてしっかりと説明できるようにしていただきたいなと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にご意見ございますか。</p>
森本委員	<p>概ね廃止の方向で皆さんの意見がまとまってきていますが、そもそも廃止ということが、念頭にありませんでした。前回の答申によると、「新規事業を早期に整備し運用を開始すること。運用が開始されるまでは事業を継続すること。」となっていて、新規事業があるのかどうかということ。それから前回の議事録の中でも事務局の回答の中には、完全廃止までは事務局としては考えていない、とあります。そして、行政改革の見直しのところですが、これは廃止ということではなくあくまでも見直しということですね。入間ドックでも要改善ということで、その上の段階で不要凍結っていうのは、廃止という方向ではないはずですが、今回の見直し案では廃止というスケジュールが組まれているという理由を伺いたい。</p>
議長	<p>今の意見について事務局からお願いします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>前回の議事録の中での廃止はないとの発言は、今期の高齢者保健福祉計画の中で、この事業を実施していくと謳っているもので、令和8年度までは廃止はできない、ということでした。それから、入間ドックや行政改革では見直しと言っていることについては、見直しの中で色々な検討をしてきた中で廃止という見直し案に至ったものです。</p> <p>資料の中でも、他市の状況等を見比べておりますが、入間市の利用状況というのは突出していることが見受けられます。森本委員から、入間</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p data-bbox="236 1395 355 1429">森本委員</p> <p data-bbox="236 1776 408 1809">高齢者支援課主幹</p>	<p data-bbox="469 255 1414 1368">市の独自を売りにしていくという考え方はできないのか、という意見をいただいておりますが、現在、市では高齢者の部分だけではなく、市全体として見直しを図っていくという状況にあって、今回しっかりと廃止を含めた見直しを行う必要がありました。もし今回継続したとしても、その状況をみた近隣市が入間市のように新たに実施していくというような状況にはならず、やはり近隣市においても減少傾向になるものと考えられます。また、どうしても、財政的な部分っていうのは否めないところがあります。独自事業の中でも、かなり突出した事業になっています。さらに平成27年時の諮問に対しても、いろんなご意見をいただいて、新事業が整備されるまでは継続するという答申をいただきました。そして、デマンド交通の話もありましたが、おそらく、公共交通計画の見直しの中の一つとして、デマンド交通も視野に入れていたのだと思います。ただ、先ほど資料にもありましたが令和2年にていーワゴン・ていーろーど、として本格運行となった時に、公共交通計画での新事業というのは一区切りであったと考えられます。本来は、そこで新事業として整備ができた、という判断をして、廃止の議論をしなければならなかったのかなというところもありますが、ちょうどその時期はコロナ禍であったことで、審議いただく機会を作れなかったものでございます。</p> <p data-bbox="469 1395 1414 1749">その上でなんですけども、私の方から出させていただいた意見で、意見書の本体の方ですが、削減の半減っていうことで、①の対応で要支援1、2が外れれば64%削減できるということを書かせていただいたのですが、2枚が1枚になるということだと、大体、6分の1程度の額になってくるのかなと思いますが、それでもやはり突出した事業の支出になってくるのかお聞きしておきたいと思います。</p> <p data-bbox="469 1776 1414 2000">繰り返しになりますが、ここで一旦、要支援1と2を見直すと半分以上減りますので金額にするとおそらく、1,300万円から1,400万円ぐらいにはなります。ただ、そうした状況でも、やはり他市の状況から見ると、どうしてもタクシー事業を継続していくという選択は厳し</p>



発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>いかなど考えています。難しい選択ではありますが、その分の費用を他の事業に転換していくというようなことができればと考えております。</p> <p>はい。そうしましたら本日の審議の方はここで一旦終了として次回にまた持ち越したいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に、2点目、その他を議題といたします。事務局からお願いいたします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>次回の審議会の方で、再度タクシー券のことについてご審議いただき、審議会としての方向性を決めていただければと思っております。また、併せて、「一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業」についても、ご審議いただきたいと思っております。なお、開催通知と資料については事前に配布させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。以上で本日の議事はすべて終了いたしました。たくさんの意見、それから事務局からいろいろな資料を提出いただきまして本当にありがとうございます。次回またこのタクシー券のことについて審議をさせていただきたいと思っておりますので、また皆様、意見をご検討いただければと思っております。</p> <p>これにて議長の座を終わらせていただきます。皆さま、どうもありがとうございました。</p>
高齢者支援課長	<p>それでは、次第5、その他です。事務局からご報告があります。繰り返しになりますが、次回の審議会は12月13日を予定しております。なお、今回は審議会開会前の勉強会は実施いたしませんのでよろしくお願いたします。</p>
中林副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p> <p>～令和6年度第3回高齢者福祉審議会終了～</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年11月27日

議長の署名 小池 佐智子

議長が指名した者の署名 高山 京子